



# まちの話題

話題・情報は企画課へ  
お寄せください。



## おめでと〜ございます 百歳を迎えられました

町では、満百歳を迎えられた方をお祝いする長寿表彰を行っています。このたび、5月5日に細田たか子さん（小別府）が、5月20日に大谷よし江さん（宮谷）が満百歳を迎えられ、町長から寿詞などが贈呈されました。これからもお元氣にお過ごしください。



満百歳を迎えられた細田たか子さん



満百歳を迎えられた大谷よし江さん

## （株）オグラから企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

ポンプ設備をはじめ、機械器具設置工事や水道施設工事、電気工事などを手掛ける株式会社オグラ（鳥取市・小倉豪取締役社長）から、企業版ふるさと納税制度を通じたご寄附をいただきました。これを受け、5月29日（金）に八頭町役場で感謝状贈呈式を行いました。

同社からのご寄附は、令和4年度、5年度に続き3回目です。贈呈式では、出席した野澤常務取締役が「少しでも町の活性化に貢献できたら光栄」と話されました。いただいたご寄附は、「暮らしを支え、笑顔が続く安心・安全のまちづくり事業」に活用します。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



矢部啓祐町長から感謝状を受け取った（株）オグラの野澤常務取締役（左）

## 若桜線の思い出を ダンボールで再現

ダンボールの断面を生かした作品を制作するダンボールクラフト創房「段・ダン・だん」の原禎幸さんが、このほど若桜鉄道株式会社へ作品を寄贈しました。寄贈されたのは、「明治・大正・昭和の駅前風景と山陰を駆けつけた機関車」をテーマに制作した作品のうち、「若桜鉄道観光列車八頭号」と「転車台とピンクSLC12-167」の2作品です。

旧国鉄に勤務していた原さんは、戦後復興に大きく貢献した鉄道の姿や、在りし日の若桜線の風景を思い起こしてほしい。多くの人に見てもらい、地域振興の一助になればと話していました。寄贈作品とあわせて、「隼駅駅舎」や「八東川鉄橋を渡るC12-167」も、今後、若桜鉄道の駅構内や町内施設などで展示される予定です。



ダンボールで制作した若桜鉄道観光列車八頭号など2作品を寄贈した原さん

上方落語の祭典「彦八まつり」  
で八頭町をPR

上方落語協会による年に一度のファン感謝イベント「彦八まつり」が5月16、17日に大阪府で開催され、八頭町観光大使の桂慶枝さんとともに、八頭町PRブース「八頭廻し」を出展しました。

ブースでは町特産品販売のほか、2年ぶりに参加した北岡本店によるリキュールなどの酒類販売も行いました。

初日限定の「エリンギの掴み取り」は、慶枝さんの軽快なマイクパフォーマンスもあり大きな注目を集め、開始からわずか10分で完売。また、町特産品が当たる「やすびよんガチャ」も好評で、多くの来場者で賑わいました。

今年で3回目となる出展は、八頭町の魅力を広く発信し、知名度向上につながる機会となりました。



八頭町の特産品を試食で振る舞いながら販売。完売続出の大好評！

地域の魅力と課題を学ぶ  
八頭高校で地域資源レクチャー

県立八頭高等学校で5月19日(火)、2年生を対象とした地域資源レクチャーが行われました。

このレクチャーは、地域課題や地域資源への理解を深めることを目的に実施されたもので、町内事業所や関係機関の協力者が講師を担当。

生徒たちは、「農林業・自然環境」「観光・情報発信」「子ども・教育」など8分野から興味のある分野を選び、現状や課題、地域の魅力について学びました。

「子ども・教育」の分野では、郡家西小学校の西田校長から学校現場の課題や子どもを取り巻く環境について学び、生徒は「実際の現場の話を聞いて深く学ぶことができた」と話していました。

今後、生徒たちはフィールドワークを通じて探究を深め、来年3月に成果を発表する予定です。



学校現場の課題について講師と意見を交わす生徒たち

キラキラ  
やずっとく

人とのつながりをきっかけに  
バイクで八頭町の魅力を発信

趣味のバイクを生かし、地域資源の発掘や情報発信、関係人口の創出に取り組む地域おこし協力隊の谷内口瑞月さん。昨年4月に八頭町へ着任し、隼駅まつりや、道の駅はつうで定期開催されているライダー交流イベント「コーヒープレイクミーティング」の運営などに力を注いでいます。

八頭町との縁は、鳥取大学在学中にBARBONNでアルバイトをしていた頃に始まりました。当時から地域の人たちのつながりがあり、卒業後は隼駅まつりなどで関わりのあった株式会社ススキ二輪に就職。いつか鳥取へ戻りたいという思いを持つ中、さまざま環境の変化が重なったことをきっかけに移住を決意し、地域おこし協力隊として活動をスタートしました。



谷内口さんが作ったおすすめスポット紹介マップはライダー以外の方も必見!!

日頃は、ライダー同士がつながる場づくりをはじめ、得意のイラストを生かしたツーリングマップやポップの制作、SNSでの情報発信に取り組んでいます。都市部のモーターショーなどで八頭町をPRする機会もあり、ライダー目線でおすすめスポットを紹介。紹介した場所を訪れた人の投稿をSNSで見かけるたび、活動の手応えを感じるそうです。

「まずは一度、八頭町に来てほしい。そして誰かとつながり、八頭のファンになつてもらえたらうれしいです。景色や食べ物も魅力ですが、何度も訪れたい理由は何となくつながりだと思っています」

そんな思いを胸に活動する谷内口さん。万人受けしなくても、魅力に気づけばきっと好きになつてもらえらると、人と人、人と町をつなぐきっかけづくりを力を入れていきたいと、笑顔で話してくれました。



隼駅まつりにもぜひお越しください!  
8月2日開催予定の隼駅まつり。昨年は雨で来場を断念された方も多かったので、今年はぜひお越しください。暑さ対策などもしっかり行い、皆さんをお迎えする準備を進めています。会場でお会いできるのを楽しみにしています!

